

ミニデイ【おとこの台所 桜新町だより】

発行責任者 桜新町広報：柏木君夫、岡元正史

◎ テレサ・テン（鄧麗君=デン・リージュン）

（1953年1月29日～1995年5月8日）

鄧麗君は、台湾（中華民国）で外省人の両親のもとに産まれた。外省人は第二次世界大戦後の中国の国共（国民党と共産党）内戦のあと、台湾に移住してきた人たちとその子孫だ。

10歳で歌唱コンテストで優勝、14歳でプロデビュー、16歳に主演映画で女優デビュー。

18歳には香港でもトップスターになった。

21歳のとき、鳴り物入りで日本デビュー。

鄧麗君はクリスチャンで「テレサ」は洗礼名。

日本でもアメリカでも、テレサ・テンである。

しかしアイドル路線だった第1作の曲は思わしくなかった。

2作目の「空港」が大ヒットして、日本でもトップスターになった。

作詞・荒木とよひさ、作曲・三木たかしのコンビで「つぐない」「愛人」「時の流れに身をまかせ」「別れの予感」など、次々にヒットを飛ばす。

日本でリリースされた曲は260曲。中国語のリリース曲は1,000曲以上。

中国共産党は、テレサ・テンの歌を禁止したが「昼は老鄧（鄧小平）の言うことを聞き、夜は小鄧（鄧麗君）を聴く」と言われ、中国人民は鄧麗君に熱狂した。

また米タイム誌で、世界7大女性歌手に選ばれている。

当時の台湾人のパスポート事情。

日本を含め、多くの国が台湾と国交を断絶していて、台湾パスポートで入国するには煩雑な手続きと、時間を要した。そこで実業家、芸能人は、インドネシアのパスポートを取得していた。インドネシア政府発行の正式なパスポートである。

1995年5月8日、鄧麗君は、タイ・チェンマイで気管支喘息で亡くなった。

鄧麗君の棺は、中華民国の国旗と国民党党旗で覆われ、台湾での国民的英雄ぶりがうかがえた。鄧麗君の遺体は火葬されず、エンバーミングされて保存されている。

台湾では、蒋介石、蔣経国（第3代中華民国総統）、鄧麗君の3人だけである。

鄧麗君の墓地は公園となり、今も彼女を偲んで訪れる大勢の人々が絶えない。



4月の定例会 参加者は、7日（木）は14名、8日（金）は15名でした。

5月の定例会 5日（木）、13日（金）です。お楽しみに。